

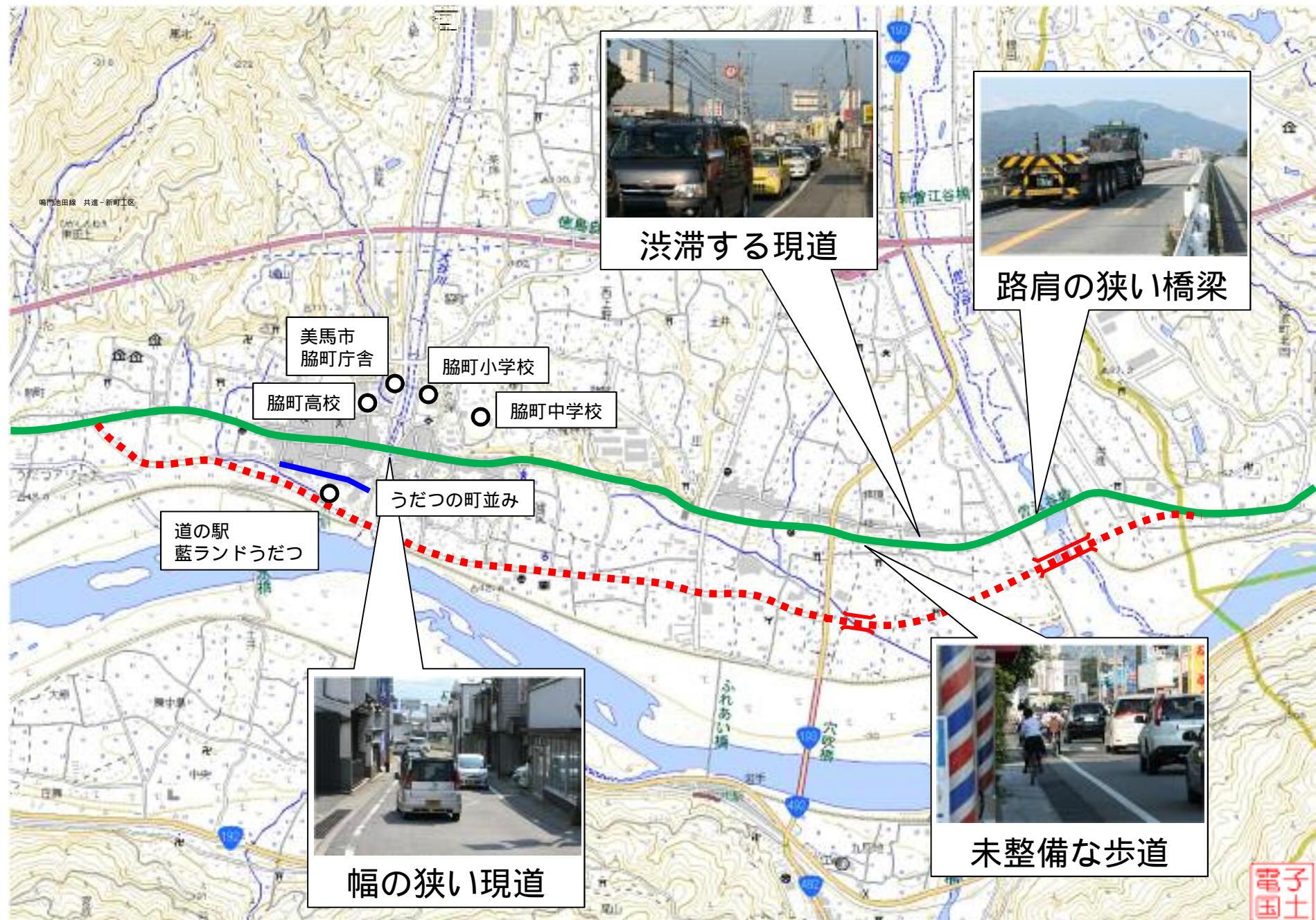
再評価【番号2】

主要地方道鳴門池田線
共進～新町工区

1. 事業概要



2. 現道上の問題



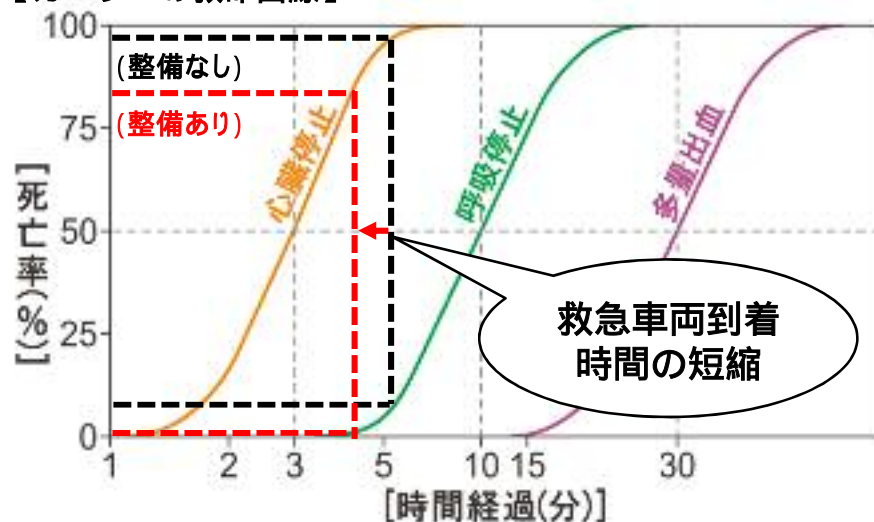
3. 道路整備による多様な効果 【貨幣価値換算可能な整備効果】

その他の便益

医 療

- 救急医療へのアクセス向上
- ・ 美馬市消防本部消防署から集落までの救急車両到達時間が短縮されることにより、救命率の向上が見込まれる。

【カーラーの救命曲線】



- ・ 心臓停止後の死亡率が約 13% 低減
- ・ 呼吸停止後の死亡率が約 7% 低減

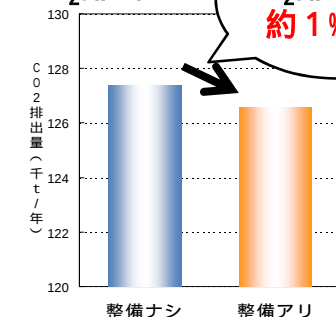
救命率の向上効果 : 67.3億円

環 境

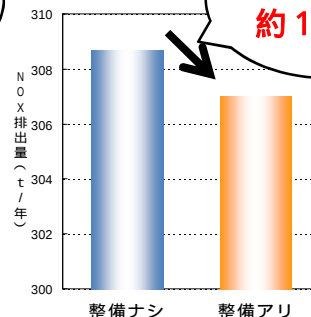
■ 地球環境の保全効果

- ・ CO₂、Noxの排出量が抑制されることにより、大気汚染・温暖化防止効果が見込まれる。

【CO₂排出量】



【NOx排出量】



大気汚染・温暖化防止効果: 0.5億円

■ 騒音低減効果

- ・ 現道の通過交通がバイパスに転換することにより、現道沿いの騒音の低減効果が見込まれる。

騒音低減効果 : 0.5億円

4 . 道路整備による多様な効果 【貨幣価値に表れない整備効果】

防災・減災 ●効果：災害に強い道路ネットワークの構築

緊急輸送道路ネットワークの強化

並走する徳島自動車道、国道192号を補完する第2次緊急輸送道路として、**緊急輸送道路ネットワークの多重性（リダンダンシー）を確保**

↓

災害時の物資輸送等が効率化

災害拠点、避難場所へのアクセス強化

工区周辺の災害対策用ヘリポート、2次救急医療施設、避難場所等へのアクセスが向上

↓

地域防災力の向上



ホウエツ病院（ホウエツ病院HPより）



脇町吉野川河川敷グランド

5. 道路整備による多様な効果 【貨幣価値に表れない整備効果】

安全・安心

●効果：地域の安全・安心の確保

通勤、通学路の安全・安心の確保

西工区現道では、バイパス供用により交通事故が減少傾向



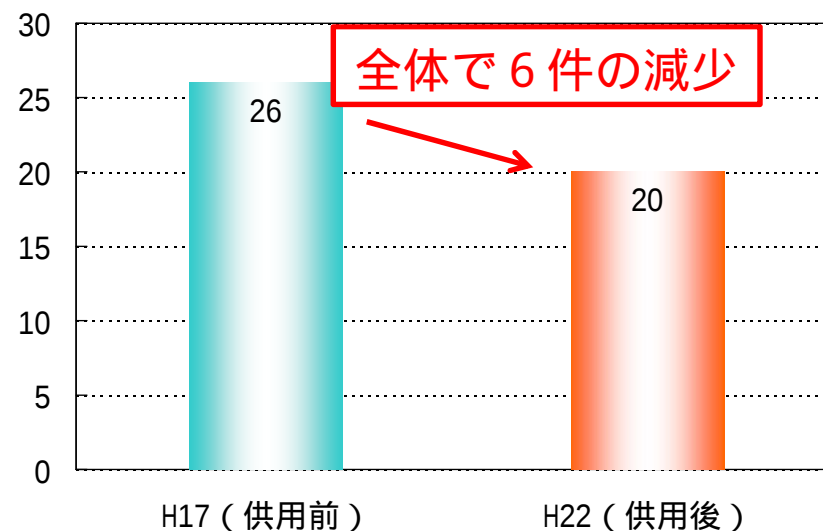
全線供用により、現道の通過交通がバイパスに転換し、交通量の減少に伴い交通事故のさらなる減少に期待



現道沿いにある小学校等への安全・安心な通学が可能に



【参考】西工区供用前後における現道全線の年間交通事故件数



現道の通行状況

6. 道路整備による多様な効果 【貨幣価値に表れない整備効果】

産業振興 ● 効果：地域経済の活性化

商業施設の立地促進

西工区沿線では、商業施設等が60店舗程度立地し、地域経済が活性化

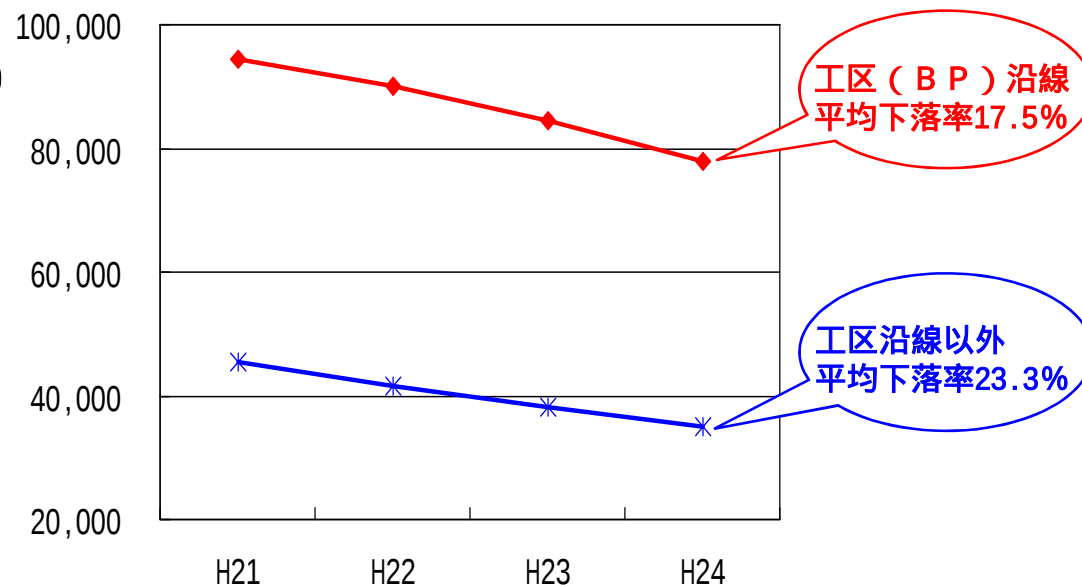


地価にも好影響（下落が緩和）

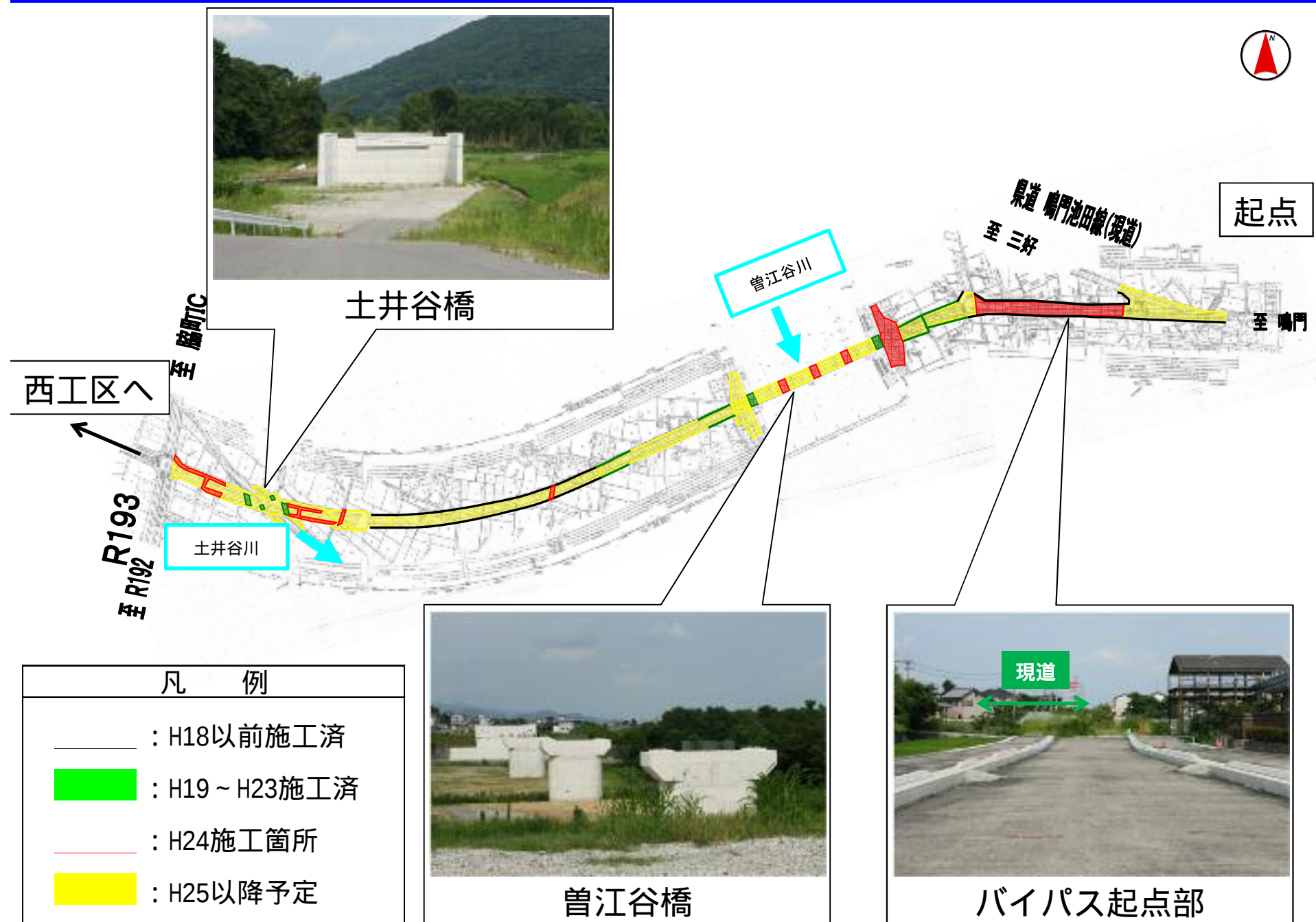


東工区でも、商業施設立地促進に期待

【参考】工区周辺における最近4箇年の地価



7. 事業の進捗状況【東工区】



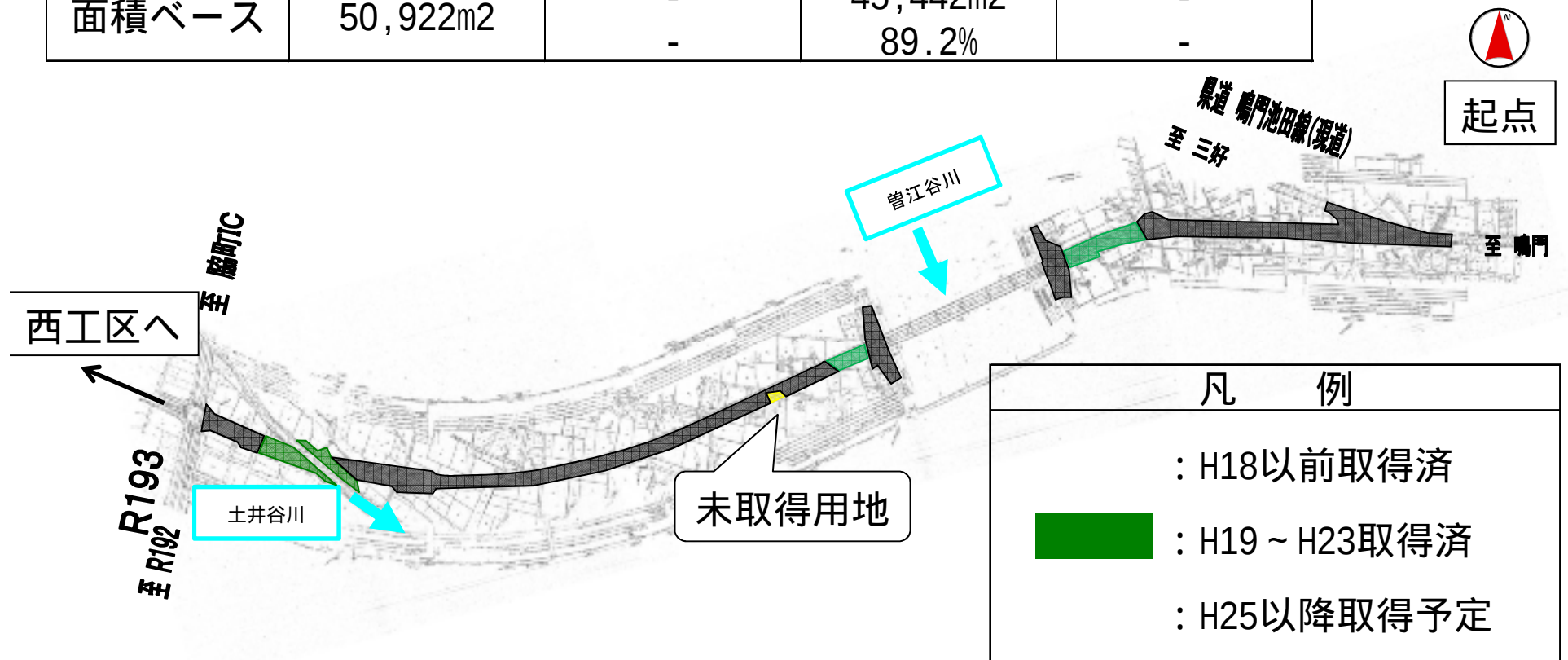
8 . 前回評価時（H19）の意見及び対応状況

意見内容

残る用地について、早期取得を図ること。

対応状況

	全体	H19再評価時	現時点	増減
件数ベース	236件	214件 90.7%	232件 98.3%	+18件 +7.6%
面積ベース	50,922m ²	- -	45,442m ² 89.2%	- -



9. 事業評価結果

貨幣換算可能な整備効果

- ・ 走行時間短縮便益
 - ・ 走行経費減少便益
 - ・ 交通事故減少便益
- 計 **136.8億円**
(現在価値化後)



その他の便益

医療

- ・ 救命率の向上効果
- 計 **68.3億円**
(現在価値化後)
67.3億円

環境

- ・ 大気汚染や温暖化防止効果 0.5億円
- ・ 騒音低減効果 0.5億円

※費用C=99.6億円 (現在価値化後)

$$B/C = 1.4$$

(参考) その他の便益を含むB/C=2.1

貨幣価値に表れない整備効果

防災・減災

- 緊急輸送道路ネットワークの強化
災害時の物資輸送等が効率化
- 災害拠点、避難場所へのアクセス強化
地域防災力が向上

安全・安心

- 通勤、通学路の安全・安心の確保
現道沿いにある小学校等への安全・安心な通学が可能に

産業振興

- 商業施設の立地促進
さらなる商業施設立地促進に期待

- 今後の対応方針 (案)

事業継続